

## 2020年度第3回理事会 議事録

一般社団法人 日本損害保険代理業協会

日 時：2020年7月10日（金）13：00～16：05

会 場：Zoom WEB 会議

出席者：全理事数 18名、出席理事数 18名、出席監事数 2名（杉本監事、津田監事）

会長 金子智明氏は、議長席につき、出席理事数の確認を行い、本理事会は定款第33条に基づき、有効に成立した旨を報告して開会を宣し、直ちに議事に入った。

### 会長挨拶骨子

令和2年7月豪雨で被災された皆さまにお見舞い申し上げます。またコロナ禍での豪雨災害で、現地でお客さま対応に尽力されている会員の皆さまに感謝ならびに励ましの意を表したい。

新型コロナウイルス感染再燃が見られ、リアル開催を予定していた本日の理事会を急遽、WEB開催に変更し、初めてのZoomWEB会議（含む理事・監事以外の役員や従前のオブザーバー）を行うことにした。東京の新規感染者も200名超が続いており、リスクマネジメントを生業とする我々が大きなリスクを冒す訳にはいかず、7/3ご案内のとおりWEB会議に変更した。

<6/8総会みなし決議、6/9理事会みなし決議以降の業務報告>

1.7/9(木)11時～17時までの間、新体制での理事WEB打ち合わせを行った。法人運営のルールや理事の役割を再確認し、課題認識を共有するとともに、各理事の想いや行動も共有でき、いろいろな気づきを確認できた場だった。コロナ禍で、各代協の活動も縮小や自粛を余儀なくされている中、またリアルのやり取りが難しい中ではあるが、WEBの力も利用しながら、打合せでの気づきを基に、『明るく、楽しく、元気に、本気で』、事業計画推進に取り組んでいただきたい。

なお、各代協の活動においても、Zoom等の活用が有効であることが確認できたため、広げていきたい。

2.7/2(木)10時、新協会長となった東京海上日動社の広瀬社長が来会され、情報交換した。

テレワークや非対面活動の拡大に伴い、「業務の共通化・標準化」に関して連携することを確認し合った。企画環境委員会にて検討をすすめてほしい。

・6/19(金)に関東財務局による61店の代理店との「新たな対話」結果がHPに公表された。内容的には異色の行政文書であり、顧客本位の理念のもとでルールの本質をしっかりと理解し、お客さまのために何ができるか、何が必要かを常に考え、業務品質を高め合い、お客さまの支持を得ながら持続的に発展していくことが重要と総括されていた。体制整備状況の検証を目的とした対話だったが、現下のコロナ禍情勢においては、BCP作成・訓練～非対面活用、テレワーク、在宅勤務制度等の諸規定の整備はじめ、なおさら「態勢整備」に注力することが重要と考える。

・「情報と熱を伝える」にはリアル開催が最良ではあるが、お客さま、会員、会員の従業員・家族の健康を最優先に考え、情勢によって、リアル・WEB・ハイブリッドなどの開催方法を決定していくので、協力をお願いします。

・本日は初めてのWEB理事会であるが、闊達な議論と丁寧な審議をお願いします。

### 〔審議事項〕

#### 1. 表彰者選考会議構成員の委嘱

事務局より、資料に基づいて、以下の通り提案され、審議・採決の結果、全会一致で承認された。

##### 【決定したこと】

- ・対象年度：2019年度分表彰者選考会議構成員については、表彰施行規則第7条の規則どおりに以下の5名が選出された。  
山口史朗（副会長）、雨宮 豊（理事）、谷川明義（理事）、中島克海（理事組織委員長）、野元敏昭（専務理事）
- ・会議開催日程：9月14日（月）11：00～12：00を予定

## 2. 事業計画推進状況

各委員会・PTの事業計画推進に関する審議案件について、各担当理事ならびに事務局から説明、提案があり、審議・採決の結果、2つの審議事項ともに、全会一致で承認された。

### 【決定したこと】

- (1) 2020年度の広報PR企画は「ユーティワイ企画」の企画案(オプション実施も含め)を採用し、制作に入る。
- (2) 損害保険大学課程コンサルティングコースセミナーの開催日程の変更、ならびに、2021年4月開講(予定)の受講者募集のあり方について、現時点での企画案・方向性を共有した。

### 【主な説明・意見】

#### (1) 2020年度の広報PR企画

- ・ 広告代理店4社(共同広告社、毎栄、千葉テレビ放送、ユーティワイ企画)によるPR企画のプレゼンコンペを6/18実施した。
- ・ 各社からは、そのノウハウやネットワークを駆使した企画を提案いただいたが、以下の理由から広報委員会としてはユーティワイ企画(TV山梨系列社・TBS系列)の企画を推挙することとなった。プレゼン採点の評定にて2社が同点となったが、同点決勝で再評定の結果、7:3で同社の企画を推挙となった。

#### <ユーティワイ企画提案企画概要>

「お客様に寄り添う安心のプロフェッショナル」をコンセプトに「真のプロ代理店・募集人」の姿を訴求、特設WEBサイトを設置し、インフルエンサーがPR情報を拡散し動画再生回数向上効果が期待できる。

- ・ 企画コンセプト:「お客様に寄り添う安心のプロフェッショナル」をコンセプトに、動画を含めたPR情報を通じ、お客さまに寄り添う、頼れる「真のプロ代理店・募集人」の姿を訴求する。
- ・ 映像コンテンツ:
  - ・ メインイメージ動画:東日本大震災から10年をベースに、事実に基づいた再現ムービーを制作する。
  - ・ 「都道府県別動画」:メインイメージ動画に連動して、各都道府県別の事例を使用して損害保険の有効性を訴求する動画を制作する。
  - ・ 日本代協メッセージ動画も制作する。
- ・ WEB情宣・オプション:
  - ・ 特設WEBサイト構築
  - ・ Twitter、インフルエンサーを活用した情宣
  - ・ オリジナル楽曲制作
  - ・ 特設サイト内でのアーティストのコラム掲載

#### <選定理由等>

- ・ 47都道府県動画の作成が継続されている
- ・ 動画が短時間だがストーリー性がある
- ・ 「東日本大震災から10年」というフレーズはインパクトがある
- ・ 動画にトータルプランナーが登場しており、代理店が寄り添う形の存在感が強く出せる
- ・ オリジナルのメッセージソング制作が良い
- ・ 特設サイト設置からTwitter、インフルエンサー活用とメディアを有効活用することにより、保険に関心を持っていない層にも訴求できる(また、YouTubeと連動することで過去の資産も運用できる)

- ・斬新で新しい風が吹く

<意見>

- ・2年連続で採用していた千葉TVとは人間関係が構築できていて、制作し易いのではないが。同点決勝の再評定時に論議した結果、3:7の最終集計となった。
- ・YouTubeチャンネルも整備でき、再生回数も増え、PRにつながってきたと考えられるが、多額の予算を投入している事業であり、緊張感を絶やすことなく、制作にあたってほしい。

[資料 審1.] 2020年度広報PR企画案(P.1-2)

(2) 損保大学課程コンサルティングコースセミナーの開催日程の変更ならびに2021/4月開講(予定)コースの受講者募集のあり方について

- ・新型コロナウイルスに関する損保大学課程の対応についての販売調査委員会6月2日決定事項、に対する企画検討状況:

2019年度第2回セミナー(2020年2月27日東京開催分)の振替セミナーを2020年12月までに開催する。(対象者は35名で、内30名は受講意思有りを確認済である。)

9/2(水)10時~17時...損保会館2F大会議室にて開催、対象者には7月に個別案内する...  
2020年度第1回・第2回セミナーを延期し、遅くとも2020年12月までに開催する方向で検討する。

- ・各会場の感染症対策G/L・未公表内規を確認し、「会場の受講者定員」の見直しを実施。
- ・マスク着用依頼の他、受付での検温、フェイスシールド全員提供等の対策を講じる。
- ・上記...から総開催回数を決定し、回数増や機材等の準備に伴う総コストを算出し、開催案を策定。
- ・開催案の承認を得た後、会場予約。

(リアルセミナーに代えられる可能性のあるZoomブレイクアウトセッションを活用することでグループディスカッションを行うことが可能か教育委員会で調査する。)

立案したリアル開催案:受講者・スタッフのコロナ感染対策等を講じ、当初予定から一部会場変更および開催回数変更して開催(第1回セミナーを9月~12月中旬、第2回セミナーを12月中旬から3月中旬)する。ソーシャルディスタンスを保てる各地会場の確保、フェイスシールド全受講者配付等々の感染対策を実施することにより、セミナー運営コストは550万円強増加する。(従前年間約310万円のところ、865万円という試算)

ただし、東京や周辺地域ならびに全国各地で感染が再燃しており、8週間後に1日1,000名の新規感染者とより悲観的な予想をしている専門家もいるため、状況を注視している。今後の状況等によって、大幅な変更はありうる。

Zoomブレイクアウトセッションの調査(講師を交えた試行による使い勝手確認、利用制限をかけている保険会社の動向確認等)が喫緊の課題である。

- ・2021/4月開講(予定)コースの受講者募集に関しては、従前の予定では、9月末に募集要項等の募集関連ツールを確定させ、12/1~2/中旬で受講申込受け付けを行うことになっている。2020年度受講者向けのセミナー開催に進展がなければ、次年度受講者募集を開始できないため、まずはセミナー開催案(リアル開催~リアル不可時のWEBセミナー開催)の再策定と協議を急ぐ。

なお、11月末に募集要項等の内容を確定させ、1/1~2/中旬に受講申込受け付けというスケジュール感を想定しているが、この段階で確定できない場合は、開講時期繰り延べ(従前の4月開講を9月、10月開講に変更する)や募集中止の検討を行う必要性が生じる。

### 3. コンベンション開催の可否について

事務局より、資料に基づき、コンベンションの開催の可否について提起があり、審議・採決の結果、全会一致で第10回日本代協コンベンションの延期（2020年11月開催は中止し、次年度に延期する）が承認された。

#### 【決定したこと】

- ・11/6(金)、7(土)で予定していた第10回日本代協コンベンションの開催を中止し、2021年度に延期して開催する。

#### 【主な内容】

(1)理由：以下 記載の状況を踏まえると、本年11月に全国各地から参加者が上京する大規模なコンベンションを開催することには多くのリスクがあること、また、10周年記念となる節目のイベントを縮小開催や懇親会中止等の中途半端な形で実施しても意義がないことから、本年度の開催の大義が立たないため、中止としたい。

- ・東京都の感染拡大が続いており、この先の状況が読めないこと（一旦収束に向かっても、いつ拡大するか分からない）
- ・ワクチンも有効な治療法の開発も目途が立っていない状態であり、感染リスクが常に存在すること
- ・国内で最も感染リスクが高いのは東京であることは間違いなく、その地に全国から集まって感染せずに地元に戻っていただく保証ができないこと（感染があっても無くても他団体等から開催自体を批判され、風評につながる恐れもあること）
- ・各保険会社も年末までのイベント、懇談会等は全て中止していること
- ・一部講師からはオンラインによる配信依頼が来ているが、現状では全ての参加者のIT環境の確認を行い、必要な事前手当を行った上で、当日の円滑な視聴につなげるにはPTの負荷も大きく、ハードルが高いこと

(2)現在の検討状況と中止の際の対応課題：

- ・基調講演講師、懇親会（MC・余興）分科会講師ともに手配済。プログラムとアクションプランを作成し、詰めの作業を行うだけの状態になっている。
- ・中止の場合は、依頼先への事情説明・お詫び、並びに、ホテルのキャンセル料の交渉を行う必要がある。（キャンセル料は開催6ヶ月前から発生する）
- ・予定していた講師（基調講演・分科会ともに）の了解を得ることができれば、スタジオからのZoom配信やYouTubeによるVTR配信を検討する。
- ・会員懇談会については、今年の開催案ではQ&Aの事前配布に代える予定であったが、中止の際も同様の対応を行う。功労者表彰は来年度に併せて行う。

(3)参考：【代替案】

予定通り開催する場合：上記の通り

懇親会だけ中止する場合：業界関係者との集い、語らう開催の意味が見いだせない。セミナーや講演だけならオンライン配信で一定の目的は果たせるが、コンベンションの狙いとはずれてしまう。

（県を跨がない）東京代協からの参加者だけ集めて縮小開催する場合：

各代協にオンライン配信するにしてもコンベンションの意味がない

& 従って、やはり年に1回、全国の仲間がリアルで集まり、適度な緊張感と仲間同士の一体感のもとで、明日からの活動や自社の代理店経営に向けたエネルギーを感じる場としなければ意味がない。

## 【主な意見】

- ・第10回の記念の会であり、懇親会なしでの開催は考えられない。
- ・コンベンション延期の場合、表彰者選考は2019年度・2020年度の2名/ブロックと考えていいか。OK。
- ・予定していた講師（基調講演・分科会ともに）の了解獲得を前提に、スタジオからのZoom配信やYouTubeによるVTR配信の実現を期待する。了解。
- ・日本代協企画の行事で感染者を出す訳にはいかない。また、今、決断しなければ、キャンセル料等も増大すると思うので、中止に賛成する。

〔資料 審3.〕第10回コンベンション企画案（P.4-5）

## 4. CSR委員の交代

事務局より、資料に基づき、北陸ブロック選出のCSR委員の交代について報告があり、審議・採決の結果、全会一致で委員の交代が承認された。

### 【決定したこと】

- ・新委員：クローバ保険ナビ株式会社 宮下 正 氏（福井県代協 副会長）

### 【主な内容】

- ・前委員の健康上の理由により、交代の要請があった。

〔資料審4.〕北陸ブロックCSR委員会委員変更報告（P.6）

## 5. 日本代協アドバイザーの委嘱

事務局より、資料に基づき、日本代協アドバイザー候補の牧野 司 氏のプロフィール紹介があり、審議・採決の結果、日本代協アドバイザーの委嘱が全会一致で承認された。

### 【決定したこと】

- ・テクノロジー・シンギュラリティ研究の第一人者の一人である牧野 司 氏に日本代協アドバイザーを委嘱する。

### 【主な内容】

- ・昨年の日本代協コンベンションの分科会ゼミにおいて、「シンギュラリティ時代の保険と代理店経営」というタイトルで、人工知能が人間を超え、クルマが空を飛び、人が死ななくなったら、保険事業と代理店ビジネスはどう変わるか？最先端テクノロジーの紹介とともに、自身がイノベーターになるための手法について、演習も交えて講演いただいた。
- ・参加者から高評価で、今年の分科会ゼミも連続して登壇を依頼し、快諾を得ていた。
- ・東京海上社員であったため、業界にも詳しい。

〔資料審5.〕日本代協アドバイザー候補者プロフィール（P.7）

## 〔報告事項〕

### 1. 各理事からの報告

#### （1）地域担当理事からの報告

各理事から、報告があり、共有された。アクションシート記載事項以外の報告は以下のとおり。

- ・コロナ禍で、各代協の活動は縮小、自粛を余儀なくされている中であるが、リアル、バーチャル、ハイブリッドをうまく組み合わせるなど工夫を凝らす必要がある。
- ・WEB会議システムのコスト負担も検討いただきたい。
- ・日本代協アカデミーのID登録数が減っている代協があったため、原因を確認する。

- ・コロナ禍でぼうさい探検隊の活動も制約されるが、自然災害は待ってくれない。少人数での開催を確認し合い、展開する。出前講座についても展開案の検討が必要である。
- ・約半数が新任の会長であるため、コミュニケーションを心掛ける。
- ・「何もしてくれない」という不満を抱えた会員に改めて代協の価値・魅力を伝えるために、代理店経営サポートデスクの情宣を強化する。セミナー（含むWEB）講師も依頼したい。（リアル時、リモート時の講師料については整理し、報告する。）
- ・（Zoom活用を先進的に取り組んでいる大阪代協の取組報告）山中会長、吹原事務局長からZoom活用について報告をいただいた。
 

「7/8 大阪代協 WEB セミナーを開催した。当初リアル開催（200名）の予定をZoomWEBセミナー化した。他代協や保険会社への案内拡散（全国へ拡散）により参加者は500名を超えた。ウェビナー枠も300名 500名 1,000名と増やして準備した。また、リアルタイムアンケートで、「代協はすごい」「代協ならではのセミナー」など評価の声が相次ぎ、成功裏に開催できた。非会員や保険会社社員に伝えきれていないという従来からの課題を払拭できていると感じている。また、リアルセミナーではなかなか質問がしづらいようで生で質問が上がることは少ないが、Zoomウェビナーでは多くの質問があがっており、活用できると感じた。コストも低廉である。Zoomミーティングは40分までの利用時間であれば100名まで無料、40分超は有料となるが、月々2,000円で100名まで利用できる。ウェビナー機能を追加すると500名までは月18,000円、1,000名まで月38,000円の追加金で利用できる。なお、セミナーを開催しない月は、追加機能を解約すれば費用はかからない。PC1台あれば起動できるので活用を推奨する。」
- ・各代協の強み弱みの共有、特に弱みの克服に力を入れる。また、若手の代協会長も誕生しており、改めて人材発掘・育成にも注力する。

〔地域別・委員会別資料〕各ブロック別事業計画アクションシート（地域別・委員会別資料P.1-12）

## （2）委員会担当理事からの報告

### 企画環境委員会

松本委員長から、資料に基づき、諮問・推進事項の推進結果、現状の課題と今後の対応策について報告があり、共有された。

#### 【主な内容】

7/7（火）に新体制のWEB委員会を開催した。事前にアンケート（スケジュール、運営の仕方、向かう方向性）事前課題をメールでお願いし、委員会に臨んだ。

##### ・ 共通化・標準化の推進

前委員会で提言した内容のフォローのほかに、現下のコロナ禍情勢を鑑み、顧客本位に基づいたテーマ（非対面募集やLINE等によるコミュニケーション等）に焦点をあてて推進する。保険会社に対しても、意見交換を要請している。

##### ・ 募集実態のモニタリングと具体的対応の実施

保守的な発想から脱却することが重要と認識している。顧客本位の視点から、適切な募集と競争原理の最大化を目指し、不公正募集に負けない付加価値づくりを優先していきたいが、14名（16名中）が新任委員であるため、まずは独禁法に関する基礎知識修得から着手する。（錦野弁護士と調整中で、日本代協アカデミーのコンテンツ化も連携中）報告・集約事案は、従前とおり、委員会で共有するとともに、データベース化してホー

ムページの「会員の広場」に継続掲載する。

- ・チャネル競争力強化策、消費者・契約者に代理店の価値を伝える施策の検討、提示  
個々の代理店が独自の理念や戦略に基づき、経営資源を構築することこそ重要であるため、代理店の成長をバックアップする仕組みを構築する。また、提携業者との連携強化特に非金融サービスとの連携を図る。地力をつけることが重要で、リスクマネジメントによる他チャネルとの差別化、サービス品質を高めるための組織づくりの推進を進めていきたい。事業の明るい未来を描けるものを検討・提示する。

〔地域別・委員会別資料〕企画環境委員会報告シート（地域別・委員会別資料 P.13）

#### 教育委員会

石川委員長から、資料に基づき、諮問・推進事項の推進結果、現状の課題と今後の対応策について報告があり、共有された。

#### 【主な内容】

- ・日本代協アカデミーの展開（コンテンツ作成、利用促進、好取組事例収）  
大阪代協セミナーの成功から、WEBの持つ力を再認識した。日本代協アカデミーの認知度は約7割あることが確認できたと同時に、未利用者から利用登録方法の問い合わせが入るなど制度の周知の動きとなっている。  
展開に関しては、情報提供コンテンツPT、教育コンテンツPT、推進PTと3PTを組成し、展開する。
- ・7/7（火）現在、登録ID数は5,307人、利用代理店数840店となった。2020年度目標達成代協は、大阪516.9%、滋賀154.5%、茨城132.5%、奈良130.4%である。  
2020/3月に福岡で、4月に大阪で募集人数700名を超える会員の利用登録が実現した。
- ・ベストプラクティス事例の収集と展開に関しては、ブロック協議会での議題取り上げ、推薦という運営の仕切り直しが必要だが、WEBアンケートは継続実施している。7/10第5回アンケートを配信した。（感染症対策に関するテーマで3問の質問を発信した。）この内容に関してコンテンツに登載する予定である。
- ・特別会員である保険会社社員が利用できる仕組みの構築については、先行社（損保ジャパン）に試行IDを貸与して検証中である。
- ・損害保険大学課程の運営・検証・改善
- ・コンサルティングコースセミナーのリ・スタート案については審議事項のところでも前述のとおり。
- ・テキストPTを組成し、テキスト作成・セミナー運営修正に携わっている。
- ・ディスカッションにこだわったカリキュラムであるため、リアル開催もしくはグループディスカッションが可能なWEBセミナーの実現性調査が喫緊の課題である。
- ・損保トータルプランナーの魅力向上
- ・「TPがいる代理店」登録の推進、TPゴールドバッジ購入・着用の推進、各委員会と横連携の推進で展開する。提供が遅れている「写真入りゴールドカードの発行」の督励を行う。ネットやSNSの発信力の活用に関して、知見を持つ土川アドバイザーとの協議を行うべく、日程調整中である。

〔地域別・委員会別資料〕教育委員会報告シート（地域別・委員会別資料 P.14）

## 組織委員会

中島委員長から、資料に基づき、諮問・推進事項の推進結果、現状の課題と今後の対応策について報告があり、共有された。

### 【主な内容】

#### ・代協・支部の強化

代協活動の原点である支部活動に改めてスポットを当て、「集い・語らう」場の設定に注力する。リアルだけでなく、WEB活用により、支部メンバーの参画を促す。支部例会やオリエンテーションの開催状況の見える化や参加したくなる代協(活動)の検証が必要と考えている。

オリエンテーションムービー作成、オリエンテーションWEB開催、WEB支部例会開催にチャレンジする。支部例会運営の好取組事例も共有する。

#### ・仲間づくり推進

WEBセミナーを活用して、非会員に気づきや感動を与えられるかが重要と考え、全国組織委員一斉WEB会議の開催、非会員向けWEBセミナーの開催(コロナ禍のBCP策定、事業継続力強化計画認定申請、テレワーク時代のアカデミー利用促進、テレワーク助成金などの案内など)にチャレンジする。代理店経営サポートデスクと連携する。

#### ・代理店賠償の推進(PPT改定を含む)

もともと企画環境委員と一緒に推し進めてきた事項であり、諮問・推進も望むところである。保険会社社員向けセミナーを多く開催し、タグを組んで顧客本位の業務運営を展開する。

#### ・「会員資格と会費モデル」の検証と推進

代理店の統廃合による会員減少が続いている。表彰基準は入会ベースで設定済のため、自代協が安定的かつ積極的な運営が可能となるために必要な会員数・会費収入について、各代協の検討状況を確認する。「考え方」について、新メンバー間で読み合わせを行い、認識の共有を図る。

その他、自主取組事項として、参加してよかった組織委員会とするためにもイ.テレワーク推進のポイント確認、ロ.BCP策定と中小企業事業継続力強化計画認定取得に取り組みたい。

(地域別・委員会別資料) 組織委員会報告シート(地域別・委員会別資料 P.15)

## CSR委員会

廣瀬委員長から、資料に基づき、諮問・推進事項の推進結果、現状の課題と今後の対応策について報告があり、共有された。

### 【主な内容】

#### ・防災・減災の具体的な取り組みの検討・推進

大規模自然災害が常態化しており、毎年、想定を上回る被害が発生している。被災状況や対応状況を確認するとともに、ハザードマップの活用例を収集し、提案につなげたい。委員をグループ分けして討議する。

#### ・ぼうさい探検隊の積極推進

コロナ禍の影響により、地域差はあるが、小学生が集合してマップ作りを進めることは難しい状況である。できる地域では積極的に進めていただきたいが、活動が難しい地域では小規模(家族単位等)でのマップ作成やタブレット等を駆使しての作成などの取組



を進める必要がある。(提出マップの要件は、「こども2名・保護者1名」である。)

#### ・BCPの推進

まずは各会員がBCPを作成するとともに、コロナ禍対応も含めた見直しを行うことが必要である。昨年度末に配信済の「みんなのBCPツールを使っての『BCP策定支援セミナー』」については、今後はWEBミーティングでの提供も検討していきたい。

#### ・サイバーセキュリティ対策の推進

ZoomなどWEBミーティングやWEBセミナーを活用した情報発信を検討する。

[地域別・委員会別資料.] CSR委員会報告シート(地域別・委員会別資料P.16)

#### 広報委員会

野原委員長から、資料に基づき、諮問・推進事項の推進結果、現状の課題と今後の対応策について報告があり、共有された。

#### 【主な内容】

・日本代協ならびに損害保険トータルプランナーのブランド力向上に向けたPR施策の検討・実施 審議事項のパートで決議済。

・日本代協・各代協のホームページの活用と対外広報活動の企画・推進

各代協のホームページの運用方法が異なるため、運用・活用方法に関する好取組事例を収集し、共有していきたい。昨年度改定した日本代協ホームページやPR企画のWEB特設サイトとの紐づけリンクを推進していく。また、各代協ホームページの運営ガイドラインの見直しも検討したいと考えている。

・「みなさまの保険情報」の活用推進

コロナ禍での情報発信のあり方を踏まえ、現行の提供の仕方でいいかどうかも検討する。

・代協の魅力を伝える動画の制作

5月末にリリースした「代協の魅力を伝える動画」は日本代協役員・委員や各代協役員から好評であるが、6月末のYoutube再生回数は845回という状況である。各会議やセミナー等での放映やURL周知等をお願いする。また、活用事例を収集し、さらなる情宣に使っていく。

[地域別・委員会別資料.] 広報委員会報告シート(地域別・委員会別資料P.17)

#### <意見>

・「代理店賠償の推進」が今年度から組織委員会主管となったことについて、各代協会長への改めての説明が必要である。

#### <説明>

##### [経緯]

- ・4/17 正副会長打ち合わせにて新体制諮問事項案を策定。
- ・5/14 に新体制理事会議案に盛り込み、理事候補者あて配信。
- ・6/9 新体制理事全員から議案に関する同意書全件提出により、各委員会への諮問・推進事項みなし決議が成立。

(参考:2月に事業計画案作成(3月総会で確定)に対し、各委員会への諮問推進事項は新年度6月理事会審議となっており、結果、各代協の事業計画における委員会諮問推進事項と齟齬が生じてしまうことは起こり得るが、次年度から原則として事業計画に反映させるよう取り組む。)

[変更理由]

- ・金融サービス仲介法制の成立～DX(デジタルトランスフォーメーション)の進展による業界の破壊的変革を想定して、企画環境委員会には、「業務の共通化・標準化」と「チャネル間競争力の強化」に重点的に取り組む必要があると考えたこと
- ・代理店賠償の普及推進においては、教育委員や役員がセミナー講師を担当している代協もあるが、多くは、企画環境委員や組織委員が対応していることを確認したこと
- ・募集上の留意点の整備が進み、音声入PPTツールを提供済であること

[対応のお願い]

- ・各代協の総会で決議された委員会担当業務とは一部齟齬がでる形となっているが、上記経緯・理由を斟酌いただき、連携、役割分担修正など柔軟な対応をお願いしたい。

## 2. 前回理事会(2020.6.9みなし決議)以降の主な業務報告

### (1)「仲間づくり推進」6月末状況のご報告

【主な内容】

- ・6月累計で入会77店、退会230店(内廃業・合併152店)、合計153店(前年度は入会102店、退会279店で合計177店)、累計で11,615店となった。
- ・代申会社別では、損保ジャパン67店、東海日動38店、三井住友28店、AIG7店、あいおい6店など、楽天損保の+1店を除き、全社で減少となった。
- ・代協別では京都が入会基準目標を突破し、1冠を達成した。福井が75%、長崎60%と続いている。一方で入会が「0」の代協が18代協(去年は15代協)ある。
- ・専業換算組織率では、全体では46.1%。京都78.2%、香川75.0%、高知74.0%、滋賀70.2%の4代協が70%を超えている。

[資料 報1.] 2020年度 仲間づくり推進6月末状況(1.代協別、2.代申別)(P.8-9)

### (2) 日本代協アカデミーの展開

【主な内容】

- ・7/7時点のID登録状況は、841店(前年度末817店)・5,305ID(前年度末4,192ID)である。
- ・「目指せ、三冠王!」の取組みにおける目標としては、各代協に純増ID数を設定しているが、大阪516.2%、滋賀136.4%、茨城135.0%、奈良130.4%の4代協が現時点で目標数を達成している。
- ・10月に利用手続きの更新を迎えるが、フローを詰めているところであり、改めて連絡する。(代理店賠償 日本代協新プランの更新と一部時期が重なるため、会員の勘違いを防ぐことができるようスムーズな手続き方法を検討している。)

[資料 報2.] 1.日本代協アカデミー利用者登録数(P.10)  
2.日本代協アカデミーコンテンツリスト(P.11)

### (3) 損害保険トータルプランナー認定状況等

【主な内容】

- ・損害保険トータルプランナーの6月1日時点の認定有効者数は13,982名となっている。
- ・教育プログラムの修了者がコンサルティングコース試験を受験し、合格して所定の要件をクリアすると損保トータルプランナーと認定されるが、コロナ禍の影響により、コンサルティングコース試験(CBT試験)の受験会場が閉鎖されたこともあり、従来6月単月で実施していた試

験が2021年1月(2020/6月~2021/1月の間、受験可能)まで延長されている。今後、認定者が増えてくると予想している。

- [資料 報3.] 1.損害保険大学課程各コースの認定状況等(P.12-13)  
2.損保トータルプランナー周知らし(P.14-15)

#### (4) 代理店賠償「日本代協新プラン」の更新対応

##### 【主な内容】

- ・募集ツールの配信：2020年8月7日(金)一斉発送予定
- ・募集締切日：2020年9月4日(金)
- ・補償内容の変更なし、保険料に関しても割引・割増の制度を含めて変更なし。

参考：代理店賠償の補償の内容には関わり合いが無い問題であるが、約款への追加条項がある。

「保険法対応特約」を「保険法等対応特約」と変更し、以下を追加する予定。

##### 18. 貿易・経済制裁

「当会社」は、この「保険契約」に従い、保険を提供し、保険金を支払いまたは給付金を提供することにより、「当会社」またはその親会社が国際連合の決議に基づく制裁、差止め、規制その他の貿易・経済制裁および欧州連合、英国、日本または米国の法律その他規制の発動を受ける可能性がある場合、当該保険の提供、保険金の支払い、給付金の提供を一切行わず、またその責任もないものとします。

##### 1. この特約の概要

貿易制裁が課された国、法人、人物に関する損害を免責とする特約である。

##### 2 付帯する背景

既に英文証券では、日本国外リスクを補償する契約に対してこの特約を付帯する運用とされているが、コンプライアンスの観点から、今後は日本国内リスクのみを補償する契約に対しても全件付帯することとなった。

日本代協新プランの代理店賠償には関わりのない条項であるが、代理店賠償のような「専門業務事業者賠償責任保険」や「サイバー保険」などファイナンシャルライン部で取扱うすべての約款に追加することとなった。

- [資料 報4.] 2020年度「日本代協新プラン」パンフレット見本(P.16-17)

#### (5) 代理店経営サポートデスク相談状況

##### 【主な内容】

- ・6月末で前年度7月からの累計で48件(2020年度は9件)の相談に対応している。
- 事業継続力強化計画認定申請、ISO9001導入、職員採用、乗合対応、合併・M&A、LINE活用など多岐にわたっている。

- [資料 報5.] 代理店経営サポートデスク相談明細(P.18)

#### (6) 業界紙懇談会実施予定(7/3[金]15時30分~WEB会議)

##### 【主な内容】

- ・日本代協事業計画の概要、重点的な取組みを報告し、最近の業界を取り巻く諸課題について、幅広い意見交換を実施した。保険研究所、保険毎日新聞社、新日本保険新聞社から各1名が参加された。

- [資料 報6.] 業界紙懇談会の開催案内(P.19)

#### (7) 損保7社・損保協会との懇談会実施報告

##### 【主な内容】

- ・損保7社・損保協会との懇談会：7/21(火)15:00~開催予定、当初はリアル開催で企画していたが、WEB会議形式(v-cubeまたはZoom)に変更して開催する予定である。

- [資料 報6.] 損保7社・損保協会懇談会の開催案内(P.12-13)

活力研については、当初7/17(金)開催予定を9/4(金)に変更したが、WEB開催となる見込みである。

### 3. 情報提供

#### (1) 業界動向最新情報

##### 【主な内容】

- ・日本代協ニュースの情報版として「業務関連動向」を作成・配信する。  
第1号、第2号は7/10(金)午前に各代協会長、事務局あてメールにて配信した。
- ・損保協会では、喫緊の課題である「大規模自然災害対応」のために「自然災害対応検討PT」を立ち上げた。さらに当該PT傘下に1.風水災共同取組W・G(風水害の保険金支払いに関する共同取組み)と2.不正請求対策W・G(特定修理業者を含む不正請求対策)を設置して対応の検討を進めている。  
風水災W・Gでは(2)避難所等における請求勧奨、不正請求W・Gでは(1)消費者庁との連携、(2)適格消費者団体との連携、(3)特定修理業者に関する情報の業界内共有体制の構築、(4)業界共通修理単価DBの構築 などでの共同取組みを進めていく流れとなっている。

〔資料 報8.〕1. 関東財務局ヒアリング結果

- <http://kantou.mof.go.jp/content/000266693.pdf>
- 週刊ダイヤモンド抜粋記事(P.22-27)
- 金融サービス仲介法制概要  
<https://www.fsa.go.jp/common/diet/201/01/gaiyou.pdf> 概要  
<https://www.fsa.go.jp/common/diet/201/01/setsumei.pdf> 説明資料
- 書面・押印・対面手続の見直しに向けた検討会  
[https://www.fsa.go.jp/singi/shomen\\_oin/setup/20200609.html](https://www.fsa.go.jp/singi/shomen_oin/setup/20200609.html)
- 火災保険基準手数料率の改定(P.28-29)
- ふうたのワンポイントレッスン part5vol.3(P.30-31)

〔追加資料.〕報道に見る業界動向 1.2.日本代協ニュース情報版:P.6-13)

#### (2) 損保協会新体制ならびに協会長ステートメント(6/30)

##### 【主な内容】

- ・新会長(広瀬 伸一 東京海上日動社長)はじめ新役員の略歴が紹介された。  
なお、広瀬協会長は就任早々の7月2日(木)10時に来会され、金子会長と懇談された。  
会長 広瀬 伸一 (東京海上日動社長) 新任  
副会長 原 典之 (三井住友海上社長) 新任  
副会長 助川 龍二 (共栄火災社長) 新任  
副会長 牧野 治郎 重任  
専務理事/岩崎 賢二 常務理事/伊東 祐次 常務理事/坂本 仁一 重任
- ・金融庁の人事では、金融国際審議官であった氷見野良三氏が金融庁長官となることが新聞で発表されたが、監督局長、保険課長、総括保険課長補佐についてはまだ発表がない。損保担当窓口の課長補佐に佐藤寿昭氏(前関東財務局理財部金融監督第4課長)が就任したことは確認できている。

〔資料 報10.〕1. 損保協会新体制(P.32-33)

- 日本損害保険協会 金杉協会長のステートメント(2020.06.16)(P.34-41)
- 日本損害保険協会 広瀬協会長のステートメント(2020.06.30)(P.42-46)

### 4. その他

日経新聞に、損保業界にかかる記事が連日掲載されており、一部には当局の思惑も見受けられる。環境変化を感じ取ってもらうために、参考までに記事を添付する。

## 〔監事講評〕

津田監事から以下の通り監事講評があった。

- ・ 7/9 の理事合宿打ち合わせに続き、本日の理事会での熱心な討議に感謝申し上げる。  
審議事項に関しては論議を重ね、適切に議事運営されたものと判断する。
- ・ 初めての Zoom 会議であったが、事務局サイドの音声聞きづらかったので、調査のうえ、改善いただきたい。
- ・ 各理事に委嘱されている「自分の職務」の 1 回目の対応がどうなのかということが伝わりづらかった。前日に WEB で理事全員の打ち合わせを行っており、すり合わせは終わっていると思うが、改めて相互理解を図ったうえでの事業計画推進をお願いする。
- ・ 熱心な取組姿勢は十分に伝わってきており、新年度の今後の取組みに期待したい。

以上

< 諸会議開催予定 >

2020年7月～2021年2月のスケジュール (案)

損保会館の予約状況ならびに会議体のあり方の改定状況によっては、日程の変更がありますので、予めご了承ください。

2020年度	7月2日(木)	10:30～12:00	正副会長打合せ	WEB会議(ハイブリッド)
	7月3日(金)	15:30～17:00	業界紙懇談会(会長、広報担当副会長、広報委員長)	WEB会議(ハイブリッド)
	7月9日(木)	11:00～17:00	新体制理事会 懇親会	WEB会議(V-cube) 中止
	7月10日(金)	13:00～16:00	第3回理事会 テーマ:通常議題 セミナー	WEB会議(Zoom) 中止
	7月17日(金)	15:00～17:30 17:45～20:00	活力研(正副会長、企画環境委員長) 懇親会	9月4日(金)へ日程変更
	7月21日(火)	15:00～17:00	7社懇談会	WEB会議(ハイブリッド)
	9月4日(金)	15:00～17:30 17:45～20:00	活力研(正副会長、企画環境委員長) 懇親会	WEB会議開催を検討中
	9月14日(月)	10:30～12:00 13:00～17:00	正副会長打合せ 第4回理事会 テーマ:通常課題	WEB会議開催を検討中
	9月15日(火)	11:00～17:00 17:00～18:00 18:15～19:30	第1回会長懇談会 情報提供:好取組事例の紹介 同上懇親会(有志・会費制)	WEB会議開催を検討中
	9月16日(水)	9:30～16:00	新任会長オリエンテーション	WEB会議開催を検討中
	10月15日(木)	9:30～10:45 11:00～17:00 18:00～	正副会長打ち合わせ 第5回理事会 テーマ:通常議題 損保協会との懇談会(日本代協主催)	会場未定 中止
	11月6日(金)	13:00～20:00	第10回日本代協コンベンション	次年度へ延期
	11月7日(土)	10:00～12:00	第10回日本代協コンベンション分科会	次年度へ延期
	12月7日(月)	10:30～12:00 13:00～17:00	正副会長打合せ 第6回理事会 テーマ:通常議題	日本代協 会議室
	12月8日(火)	11:00～17:00 17:00～18:00 18:10～19:30	第1回ブロック長懇談会 セミナー 同上懇親会(有志・会費制)	損保会館 大会議室 会場 損保会館3F食堂
	2月5日(金)	9:15～10:15 10:30～12:00 13:00～17:00	正副会長打合せ 財務委員会 第7回理事会 テーマ:事業計画案、他通常議題	日本代協 会議室

以上をもって、議長は理事会の終了を宣し、午後4時05分閉会した。  
上記理事会議事録を作成し、議長並びに議事録署名人が記名押印する。

2020年7月10日

議長                      会長                      金子 智明                      印

議事録署名人              監事                      杉本 恭三                      印

議事録署名人              監事                      津田 文雄                      印